

令和2年4月17日

熊本市SCにおける

新型コロナウイルス（COVID-19）への対応について

今回の新型コロナウイルス（COV）感染は、国全体の緊急事態宣言までに至る状況となり、熊本市地域も例外でなく、緊急の対応が必要となっている。

SC会員は概ね60歳以上の者により構成され、COV感染の重度化の年齢層（高齢者等）に重なっている。連日のCOV報道等の情報に接し、感染の不安や恐怖が生じることが想定されるため、会員の安心感の確保の取組は急務となっている。

一方で、COV感染の拡大により、経済活動はもとより日常生活へのダメージは大きく、地域社会の混乱を招かないためには、社会生活を維持するための一定の機能は継続して行く必要がある。

SCの業務の性格とCOV感染の特徴等を踏まえ、SC会員や就業関係者をはじめ、地域社会への影響を最小化する観点から、次のとおりSCの基本的な対応を図る。

【基本的な考え方】

（1）SC業務継続計画による対応

会員及び関係者の感染予防を前提として、可能な限り業務を急減することなく、状況に応じた適切な対応を要することが重要である。

→ SC業務継続計画（別添）

（2）自己管理

SC会員は、概ね60歳以上でCOV感染の重度化の年齢層（高齢者等）に重なっている。したがって、COV感染防止のためには、会員は日常の中で極めて高い緊張感をもって体調管理を行うことが重要である。

→ 自己管理の対応

（3）COV対応チームの設置

会員の安心感の確保のため、COVに関する正確な情報の確保と正しい対応が必要であり、SC事務局にCOV対応チームを設置する。

→ SC事務局のCOV対応チームの設置